

科目名称	母性看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 前期	1	30
担当教員	小池 佐知	授業に関わる 実務経験	☒ 有（助産師） ☐ 無	

【1】授業概要

母性看護の基盤となる概念を、母性看護を实践するうえでの考え方や方向性と関連づけて理解し、女性の一生を通じた母性の健康の保持・増進と次世代の健全育成をめざす看護について考える。

母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状について理解を深め、母性看護の課題の解決に向けた援助について考える基礎的能力を養う。

【2】学習目標

1. 母性とは何かを幅広く考え、母性をめぐる様々な定義を理解し、母性看護学における母性の捉え方について理解する。
2. セクシュアリティ、リプロダクティブヘルス/ライツについて理解し、母性看護を含む今後のヘルスケアの課題について理解する。
3. 母性看護の歴史と統計的指標からその変遷を知り、母性看護に関する組織や法律、母子保健施策の視点から母性看護の現状を理解する。
4. 母性看護を取り巻く環境の特徴と、それらが母性の役割に及ぼす影響について理解する。
5. 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化と、母性の発達・成熟・継承を理解する。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	母性看護の基盤となる概念①	講義
2	母性看護の基盤となる概念②	講義
3	母性看護の基盤となる概念③	講義
4	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状①	講義
5	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状②	講義
6	母性看護の対象理解①	講義
7	母性看護の対象理解②	講義
8	母性看護に必要な技術①	講義
9	母性看護に必要な技術②	講義
10	女性のライフステージ各期における看護①	講義
11	女性のライフステージ各期における看護②	講義
12	リプロダクティブヘルスケア①	講義
13	リプロダクティブヘルスケア②	講義
14	まとめ	講義
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

1. 筆記試験(90%)・課題レポート(10%)によって総合的に評価する。

【6】教科書

森 恵美:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 1 母性看護学概論(第14版) 医学書院 2022 (電子版)

【7】参考書

国民衛生の動向

【8】受講生へのメッセージ

今後、母性看護学を学ぶ上で必要な知識を学びます。